

不法投棄されていた土地を地元の手で 憩いの場に！夢のひろばづくり

1 社会資本の概要

この土地は、約20,000㎡の広い土地であり、以前は、市の建設残土置き場として利用されていましたが、不法投棄が絶えず、管理が難しい土地でした。現在は、地域の住民が主体となり『夢のひろば須田』として活用し、花植えなどを通じた地域のコミュニケーションづくりの場として利用されています。ひろばのうち2,000㎡が花壇となっており、その他の部分はさまざまな樹木が植えられています。また、須田小学校に近く、教育の場としても活用されています。



ひろばの整備前と整備後を同じ場所から撮影したもの

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

地域周辺はゴミの不法投棄が頻発しており、問題となっていました。『夢のひろば須田』も以前は不法投棄が行われていた土地であり、近隣住民からも改善要望がありました。そこで、地域住民と市が協力し合って、管理していくひろばとして整備を行いました。

花と緑の会の活動は毎日行われており、主な活動はひろばの草刈りや樹木の手入れ、花壇の花植えなどで、『1年を通して花が見られるひろば』を目標に、色々な花や樹木が植えられています。樹木も購入するだけでなく、自宅で不要になった木を寄付するなど、独自の工夫も行っています。

また、草刈りの一環として、平成26年度から飼育を始めたヤギ2頭が、マスコットキャラクターとなり、ひろばの知名度向上や活気に繋がっています。

ひろばは、小学校の向かいに位置しており、子供たちの自然観察などの校外学習の場としても活用されています。また、地域の人の遊び場や散歩コースになっており、憩いの場としても親しまれています。



花植えの様子。ボランティアだけでなく、子供たちもお手伝いをして花を植えています



夏には、植栽したひまわりが一面に咲き誇りました



茨城県 神栖市 花と緑の会／神栖市

3 活動の成果や波及効果等

毎年2,3回、ひろば全体の草刈りなど大規模な整備を行う時は、地域の行政区もボランティアとして参加しており、30名程度で活動しています。

地元の子供たちやPTAもボランティア活動を行っており、授業の合間や運動会などの行事の前に草刈りをするなど、ひろばを身近に感じてもらっています。

その結果、住民たちを悩ませていた不法投棄も解消され、近隣住民からは「景観がきれいになった」「こんなに広くて綺麗な土地があるとは思わなかった。今度はヤギを見せに子供と来たい。」などといった声が寄せられています。



須田小学校の子供たちとヤギの触れ合いの様子。
興味津々でヤギを触る子供たち



ひろばの中にある丘の上から眺めた風景（左）と、ひろばのシンボルにもなっている大きなタブの木（右）



喜びの声



受賞者

花と緑の会 会長 田中 三郎

コメント

このような賞をいただきありがとうございます。我々の活動が評価していただけたと大変感謝しております。今回の受賞を一つの好機として、5年後、10年後と、これからも更なる発展を目指したいと考えています。期待してください。

活動内容

夢のひろばづくり（除草、花植え、樹木の植樹・管理、ヤギの飼育、ひろばでのイベント開催等）

活動の経緯

平成19年 夢のひろば須田整備，造成開始
平成20年 会の発足
平成20年 花壇部分の花植えを開始
平成22年 ひろばの造成完了
平成25年 造成地全体の管理を花と緑の会で開始
平成26年 ヤギの飼育をはじめる
随時、花植え、樹木の植栽・管理、地域での草刈りをしております

手づくり郷土賞

グランプリ2016

講評

大賞部門

一般部門

資料集

所在地

茨城県神栖市須田

活動主体及び連絡先

花と緑の会 (0299-90-1008 (神栖市役所 農林課))

Twitter @yagi_suda Instagram yagisuda

対象となる社会資本

夢のひろば須田 ※管理者：神栖市

